



山下晴久県警交通部長(左)から委嘱状を受ける  
県薬剤師会とヤクルト販売会社の代表者  
＝10日午後、県警本部

## 高齢者 見守り隊 県薬剤師会とヤクルト委嘱

交通事故に遭いそう  
な高齢者を見つけたら  
警察に通報する「高齢  
者見守り隊」に10日か  
ら県薬剤師会と県内の  
ヤクルト販売3社が加  
わり、県警から委嘱状  
が交付された。

高齢者と接する機会  
の多い薬剤師約250  
0人と、ヤクルト販売  
員約3800人が、新  
たに隊員として活動す  
る。薬剤師は薬局窓口  
に事故防止のポイント  
をまとめた「交通安全  
処方箋」を掲示し、口  
頭で注意を呼び掛け  
る。販売員は高齢者宅  
を訪れた際に、県内の  
事故発生状況を踏まえ  
たアドバイスをする。  
県警本部で山下晴久

交通安全を踏まえ  
たアドバイスをする。  
県警本部で山下晴久  
交通部長から委嘱状を  
受けた県薬剤師会の明  
石文吾会長は「『お大  
事に』の一言に『車に  
気を付けて』を添えて、  
事故の予防に協力した  
い」と話した。  
県警の見守り隊は昨  
年6月以降、県内のト  
ラック、タクシー、警  
備の業界団体が委嘱さ  
れた。認知症が疑われ  
る徘徊(はいかい)者  
や泥酔者ら16人を見つ  
け、警察官による保護  
につなげた。今回の4  
団体は「声掛け部隊」  
として、危険な歩行の  
未然防止を図る。